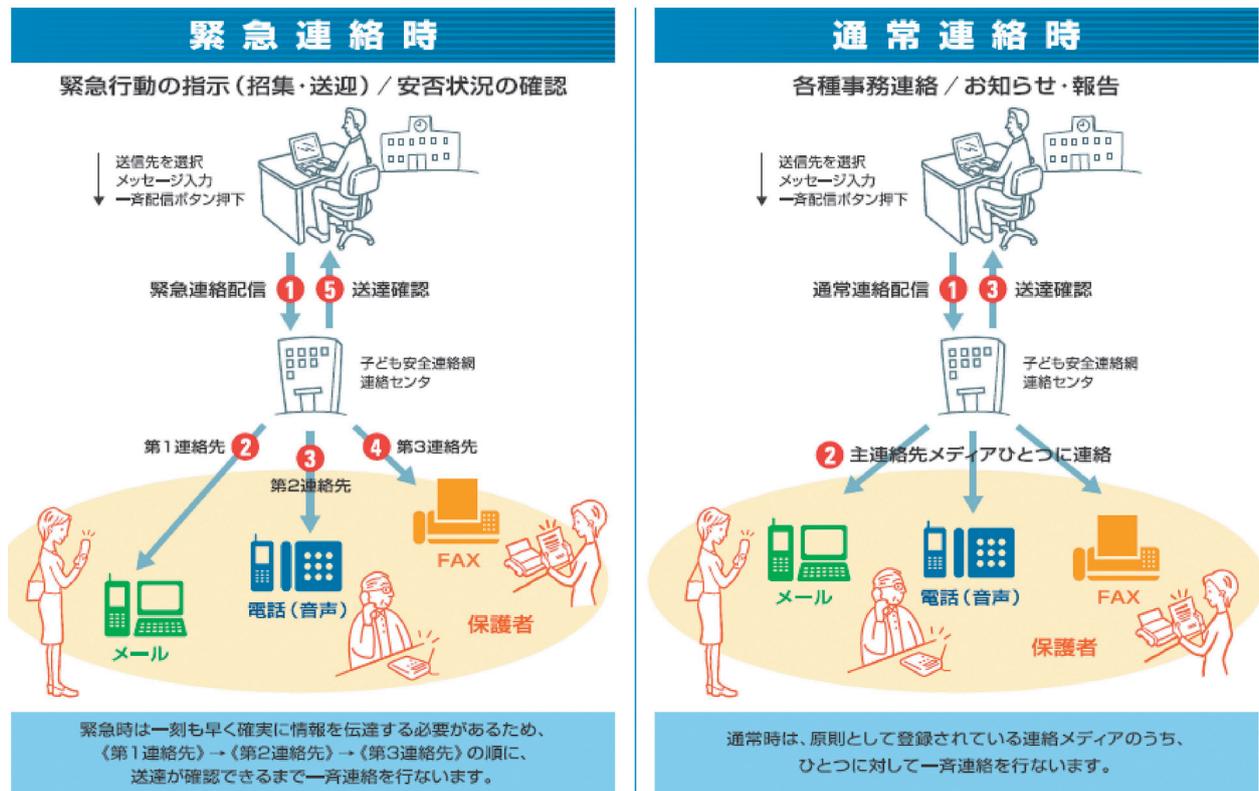


2.2.2 学校情報連絡網の活用事例(静岡県伊豆の国市)

〔概要〕

「緊急連絡を軸とした総合的な一斉連絡の仕組み」導入以前は、学校行事の変更周知や緊急連絡は電話連絡網や防災無線等を利用していた。電話連絡網については、個人情報の問題、保護者不在で連絡が届かないという問題、連絡は各担任が実施していたが、電話回線も限られていたので、個人の携帯電話を使ってかけるという問題等様々な課題があった。防災無線については、温泉街という事もあり、例えば早朝に緊急連絡を広報担当から発信しようとしても宿泊客が多く困るという声が地域住民よりあがっており、また風雨が激しいと声が入らないという問題もあり情報を正確にできない状況であった。昨今、不審者の出没、ゲリラ豪雨、東海地震、駿河湾の地震の懸念事項があり、保護者からの連絡網の整備ができないか検討を深めた。

●学校情報連絡網のイメージ



〔コラム〕

伊豆の国市教育委員会では、何とか子どもたちの安全に関わる情報を迅速かつ確実に配信したいという想いから当該システムを導入した。保護者の連絡先情報の登録時は、問合せも多くあったが、説明開催し、丁寧に対応を実施した事で、現在は円滑な運用が可能となっている。伊豆の国市教育委員会では、特に保護者の「登録率」を高めることに注力し、登録率が低い学校に対しては、教育委員会側から直接校長先生に登録率の向上の依頼を実施した。その結果、市内における、全学校園において100%の登録率を達成することに成功した。また、アンケートの結果から保護者からも高い満足度を得ている。今後「緊急連絡を軸とした総合的な一斉連絡の仕組み」の導入を検討している全国のどの自治体にとっても、非常に有益なものと考えられる。

●登録率向上の仕組み

伊豆の国市教育委員会では、何とか子どもたちの安全に関わる情報を迅速かつ確実に配信したいという思いから当該システムを導入した。保護者の連絡先情報の登録時は、問合せも多くあったが、説明開催し、丁寧に対応を実施した事で、現在は円滑な運用が可能となっている。伊豆の国市教育委員会では、特に保護者の「登録率」を高めることに注力し、登録率が低い学校に対しては、教育委員会側から直接校長先生に登録率の向上の依頼を実施した。その結果、市内における、全学校園において100%の登録率を達成することに成功した。また、アンケートの結果から保護者からも高い満足度を得ていることが伺える。さらに、今回紹介した学校・保護者への案内文雛形は、導入にあたって最も重要なステップの一つである「学校側・保護者側への周知」において、自治体の負担を大幅に軽減させる効果が期待でき、今後「緊急連絡を軸とした総合的な一斉連絡の仕組み」の導入を検討している全国のどの自治体にとっても、非常に有益なものと考えられる。

最後に、導入年度は苦勞したが、次年度からはスムーズに運用が行えている。

<参考>

平成22年度の実績

- ・全学校園 登録率 100%
- ・年間配信回数 総配信数154回(通常連絡121回、追い掛け連絡<緊急連絡>33回)
- ・1校(園)平均8.1回(通常連絡6.3回、追い掛け連絡<緊急連絡>1.7回)

(問い合わせ先)

伊豆の国市教育委員会 学校教育課

TEL:055-948-1453

FAX:055-948-1464



特集 4

あなたが住む街の学校教育ICTへの取組

● アンケート結果

(1) 学校職員の感想及び意見

① 小学校

- 導入してよかった。
- 従来の電話による連絡網では時間がかかったが、短時間で連絡できる。
- 緊急時の連絡や対応がスムーズにできるようになり良かった。楽になった。
- 今年度のような「緊急のインフルエンザ対応」では効果的であった。この連絡網がなければ、連絡だけで大変な時間を取られていたと思われる。
- 通常だけでなく、「追掛け」で3箇所にも連絡できるので連絡が徹底できる。
- 発信後における保護者からの内容に関する問合せは、現段階ではゼロである。
- これまで下校を早める際の連絡手段はなかったが、連絡網の導入により送達確認もできるので安心して帰すことができる。
- これまで行事の延期等は当日早朝に電話連絡をしており、うまく伝わらないこともあったが、確実に早く伝えることができるようになった。
- 直接保護者と話さないため、正確に伝わっているかどうか心配な面もある。
- 保護者からは、もっと様々な情報を流して欲しいとの要望があるが、学校からの配布物を家族に渡さない子どもを育成しているような気もするので、緊急を要する必要最小限の情報としている。
- 登録情報の変更、送達確認等、担当の仕事量が増えた。
- クラス単位の登録ができないので、学級連絡網も必要になる。
- いつでも配信できる無料タイプのものでもよい。

② 中学校

- 台風等自然災害による休校や感染症による学級閉鎖、下校時刻を早めた放課等の連絡が瞬時に伝えられる体制が整ったことは便利でありがたい。
- 保護者側の登録により、より連絡を受けやすい手段を選択できることも発信する側として安心できる。
- 迅速、確実に伝わってよい。情報をタイミング逃さずに発信できる。
- 送達確認もできるので安心である。
- 送達確認をしない家庭も目立つため、届いているかどうか不安を感じることもある。
- システム上の課題（保護者が登録時の煩雑さ、IDカード保管方法）
- 登録時に多くのトラブルが発生した。（保護者自身のメール設定の状況を理解していない、登録方法が煩雑）
- ID管理が面倒（学校に返却し、学校で管理を依頼したため）

③ 保育園・幼稚園

- 緊急時に同じ文章で一斉連絡ができるので、正確な上、電話連絡に比べ大幅に時間を短縮できる。
- 今の時代にあっており、正確かつ迅速に情報が伝えられるのが良い。
- 個人情報を守ることができる。
- メール受信なので忙しいときでも後で内容を確認できるよさがある。
- 送達確認状況を把握することで、連絡漏れがない。追掛け連絡があるため、繰り返し連絡をしなくて済む。
- 送達確認をしない家庭、メールアドレスを変えても変更登録をしない保護者、「追掛け連絡」の登録先で共通理解ができていないために発生した混乱もあった。

(2) 保護者の感想及び意見

① 小学校

- 学級閉鎖の情報を職場で受けられたので次の日の仕事の段取りや休暇申請をしたりすることができた。
- 連絡がすぐ入るので、すばやく対応できてよい。便利で安心である。
- いろいろな情報が入るので便利である。
- 電話連絡網は、そのときでなければ受けられないし、次の家が留守だったりすると連絡に手間取ったが、この安全安心連絡網は一斉連絡なので助かる。
- 追掛け連絡があるので、職場で連絡を受けることもできるのでありがたい。
- 家庭に不在であっても情報が得られて良い。
- 勤務中はメールなどを見ることができないが、情報が流れるタイミングが早朝や昼休みだと安心して確認できる。
- 音声受信をしているが、機械音なので迷惑電話と最初は間違えたが、慣れれば問題なし。
- 平日の勤務は携帯電話を見ることが難しいため、かえって情報を得ることが遅くなってしまったこともあった。
- いつ情報が入るかわからないので、常に携帯電話を持っていないと不安になる。
- 【要望として】
 - ・ 該当学年だけでなく、他学年の情報も流して欲しい。
 - ・ 連絡は文書でなく、メールでして欲しい。

② 中学校

- 昨年までは、電話連絡網と地域の広報無線で連絡が行われていたが、広報が聞こえにくい地域に住んでいるので、メールでの連絡は非常に助かっている。
- 速やかに連絡が行われていると思う。インフルエンザの流行状況が良くわかった。
- 天候が崩れ始め、行事が実施されるかどうか心配している時に連絡が入った。情報がすぐに伝わるので良い。
- 電話連絡網より、確実に情報が届くので良い。
- 緊急時の連絡として送られるメールであっても、勤務の都合上メールを見るのが遅くなってしまうことがあるので、その時は困る。
- 場所によっては受信しにくい地域もある。

③ 保育園・幼稚園

- 以前より便利になった。
- 市内の保・幼・小・中の一斉に導入してもらったので、迅速に情報や連絡が受けられ、仕事を持っているので仕事の段取りや対応が早くできる。
- 電話連絡網だと次の人に回さなければという意識と仕事を持っているため連絡がつきにくかったりしたが、システムが導入され負担が減った。
- 電話連絡だと正確な内容が伝わらなかったり、回すのをうっかり忘れてしまったりすることもあったが、手間が省けるし内容を再確認できるので良い。
- 登録方法が難しく、慣れるまで大変だったが慣れてしまえばとても良い。
- メールが文章で残るので内容確認ができるので便利である。
- 働いているため、連絡を受けていても携帯を見るのが遅くなりすぐに対応することができないこともある。
- メールを普段しないので気がつかない。
- 連絡があっても気がつかないことがあったり、打ち間違えたりすることもあったので、前の電話連絡のほうが良い。
- (要望) 不審者情報なども情報提供して欲しい。